



TE 500-A36

日本語

TE 500-A36

オリジナル取扱説明書

1 文書について

1.1 本書について

- ご使用前に本書をすべてお読みください。このことは、安全な作業と問題のない取扱いのための前提条件となります。
- 本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。
- 取扱説明書は常に製品とともに保管し、他の人が使用する場合には、製品と取扱説明書を一緒にお渡しください。

1.2 記号の説明

1.2.1 警告表示

警告表示は製品の取扱いにおける危険について警告するものです。以下の注意喚起語が使用されています：



危険

危険！

▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。



警告

警告！

▶ この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。



注意

注意！

▶ この表記は、軽傷あるいは物財の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

1.2.2 本書の記号

本書では、以下の記号が使用されています：



使用前に取扱説明書をお読みください



本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報



リサイクル可能な部品の取扱い



工具およびバッテリーを一般ゴミとして廃棄してはなりません

1.2.3 図中の記号

図中では以下の記号が使用されています：



この数字は本取扱説明書冒頭にある該当図を示しています



付番は図中の作業手順の順序に対応していて、本文の作業手順とは一致しない場合があります



概要図には項目番号が付されていて、製品概要セクションの凡例の番号に対応しています



この記号は、製品の取扱いの際に特に注意が必要なことを示しています。

1.3 製品により異なる記号

1.3.1 製品に表示されている記号

製品には以下の記号が使用されている場合があります：



ハツリ作業



チゼル角度調整

	サービスインジケータ
\varnothing	直径
n_0	無負荷回転数
/min	毎分回転数
==	直流
	無線データ転送
Li-Ion	Li-Ionen バッテリー
	使用されているHilti Li-Ion バッテリーのモデルシリーズ。正しい使用の章の記載に注意してください。

1.4 スイッチのオン / オフ

記号

	製品がオンにされている
	製品がオフにされている

1.5 製品情報

製品はプロ仕様で製作されており、その使用、保守、修理を行うのは、認定を受けトレーニングされた人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。製品およびアクセサリの使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外の使用は危険です。機種名および製造番号は銘板に表示されています。

- ▶ 製造番号を以下の表に書き写しておいてください。ヒルティ代理店やサービスセンターへお問い合わせの際には、製品データが必要になります。

製品データ

電動ハツリ機	TE 500-A36
製品世代	04
製造番号：	

1.6 適合宣言

当社は、単独の責任において本書で説明している製品が有効な基準と標準規格に適合していることを宣言します。適合宣言書の複写は本書の末尾にあります。

技術資料は本書の後続の頁に記載されています：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH | Zulassung Geräte | Hiltistraße 6 | 86916 Kaufering, DE

2 安全

2.1 電動工具の一般安全注意事項

⚠ 警告事項 本電動工具に付属のすべての安全上の注意、指示事項、図、および製品仕様をお読みください。以下の指示を守らないと、感電、火災および / または重傷事故の危険があります。

安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。

安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）またはバッテリーツール（コードレス）を指します。

作業環境に関する安全

- ▶ 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故の原因となります。
- ▶ 爆発の危険性のある環境（可燃性液体、ガスおよび粉じんのある場所）では電動工具を使用しないでください。電動工具から火花が飛散し、粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。

- ▶ 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。プラグは絶対に変更不要でください。保護接地した電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、感電の危険を小さくすることができます。
- ▶ パイプ、ラジエーター、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。体が触れると感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を雨や湿気から保護してください。電動工具に水が浸入すると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 電動工具を持ち運んだり、吊り下げたり、コンセントからプラグを抜いたりするときは、必ず本体を持ち、電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。電源コードを火気、オイル、鋭利な刃物、可動部等に触れる場所に置かないでください。電源コードが損傷したり絡まったりしていると、感電の危険が大きくなります。
- ▶ 屋外工事の場合には、必ず屋外専用の延長コードを使用してください。屋外専用の延長コードを使用すると、感電の危険が小さくなります。
- ▶ 湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、漏電遮断器を使用してください。漏電遮断器を使用すると、感電の危険が小さくなります。

作業員に関する安全

- ▶ 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となる場合があります。
- ▶ 個人用保護具および保護メガネを常に着用してください。負傷の危険を低減するために、電動工具の使用状況に応じた粉じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの個人用保護具を着用してください。
- ▶ 電動工具の意図しない始動を防止して下さい。電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、本体がオフになっていることを必ず確認してください。オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、電源に接続したりすると、事故の原因となる恐れがあります。
- ▶ 電動工具のスイッチを入れる前に、必ず調節キーやレンチを取り外してください。調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、けがの原因となる恐れがあります。
- ▶ 作業中是不安定な姿勢をとらないでください。足元を安定させ、常にバランスを保つようにしてください。これにより、万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、適切な対応が可能となります。
- ▶ 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- ▶ 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。
- ▶ 電動工具の取扱いに熟練している場合にも、正しい安全対策を遵守し、電動工具に関する安全規則を無視しないでください。不注意な取扱いは、ほんの一瞬で重傷事故を招くことがあります。

電動工具の使用および取扱い

- ▶ 無理のある使用を避けてください。作業用途に適した電動工具を使用してください。適切な電動工具の使用により、効率よく、スムーズかつ安全な作業が行えます。
- ▶ スイッチが故障している場合には、電動工具を使用しないでください。スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、修理が必要です。
- ▶ 本体の設定やアクセサリの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜き、および / または脱着式のバッテリーを取り外してください。この安全処置により、電動工具の意図しない始動を防止することができます。
- ▶ 電動工具をご使用にならない場合には、子供の手の届かない場所に保管してください。電動工具に関する知識のない方、本説明書をお読みなない方による本体のご使用は避けてください。未経験者による電動工具の使用は危険です。
- ▶ 電動工具とアクセサリは慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具をご使用になる前に、損傷部分の修理を依頼してください。事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- ▶ 先端工具は鋭利で汚れのない状態を保ってください。お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、作業が簡単かつ、スムーズになります。
- ▶ 電動工具、アクセサリ、先端工具などは、それらの説明書に記載されている指示に従って使用してください。その際は、作業環境および用途についてもご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

- ▶ グリップとグリップ面は乾燥した清潔な状態に保ち、オイルやグリスの付着がないようにしてください。グリップやグリップ面が滑りやすい状態になっていると、予期していない状況が発生した際に電動工具を安全に使用 / 制御できません。

バッテリー工具の使用および取扱い

- ▶ バッテリーを充電する場合は、必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、火災の恐れがあります。
- ▶ 電動工具には、必ず指定されたバッテリーを使用してください。指定以外のバッテリーを使用すると、負傷や火災の恐れがあります。
- ▶ 使用されていないバッテリーの近くに、事務用クリップ、硬貨、キー、釘、ネジ、その他の小さな金属物を置かないでください。電気接点の短絡が起こることがあります。バッテリーの電気接点間が短絡すると、火傷や火災が発生する危険があります。
- ▶ 正しく使用しないと、液漏れが発生することがあります。その場合、漏れた液には触れないでください。もしも触れてしまった場合は、水で洗い流してください。バッテリー液が眼に入った場合は、水で洗い流してから医師の診察を受けてください。流出したバッテリー液により、皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。
- ▶ 損傷したあるいは変更が加えられたバッテリーは使用しないでください。損傷したあるいは変更が加えられたバッテリーは、予測不可能な挙動により爆発あるいは負傷事故を発生させる危険があります。
- ▶ バッテリーは火気あるいは高温に曝さないでください。火気あるいは 130 °C (265 °F) を超える高温は、爆発の原因となることがあります。
- ▶ 充電に関するすべての指示事項に従い、バッテリーあるいはバッテリー工具は、決して取扱説明書に記載された温度範囲外で充電しないでください。正しくない充電あるいは許容温度範囲外での充電により、バッテリーが破壊され火災が発生する危険があります。

サービス

- ▶ 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。
- ▶ 損傷したバッテリーは決して手入れや保守を行わないでください。バッテリーの保守作業はすべて、メーカーあるいは権限のあるお客様サービスセンターが行うものとします。

2.2 ハンマーに関する安全上の注意

すべての作業に関する安全上の注意

- ▶ 耳栓を着用してください。騒音により、聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
- ▶ 本体と一緒に納品された補助ハンドルを使用してください。これ以外のハンドルを使用すると、コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
- ▶ 先端工具が隠れた電線に接触する可能性のある作業を行う場合は、必ず本体の絶縁されたグリップを持ってください。通電しているケーブルと接触すると、本体の金属部分にも電圧がかかり、感電の危険があります。

2.3 電動ハツリ機のその他の安全上の注意

作業者に関する安全

- ▶ 本製品は、必ず技術的に問題のない状態で使用してください。
- ▶ 本体は決して加工や改造を加えないでください。
- ▶ 天井、壁および床のハツリ作業の際には、足元がしっかりと安定していることを確認してください。足場が突然に壊れると、バランスを失う危険があります！
- ▶ 剥がし作業の場合には、作業側と反対の領域を保護してください。剥がれた部分が脱落、落下して他の人を負傷させる危険があります。
- ▶ 使用中は、作業者および現場で直近に居合わせる人々は、適切な保護メガネ、保護ヘルメット、耳栓、保護手袋、および防じんマスクを着用しなければなりません。
- ▶ 保護手袋は先端工具の交換時にも着用してください。先端工具に触れると、切創事故や火傷の原因となることがあります。
- ▶ アイシールドを着用してください。破片が身体の一部、眼などを傷つけることもあります。
- ▶ 作業開始前に、作業場が発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。含鉛塗料、特定の種類の木材、コンクリート / 石材、石英を含む岩石、鉱物および金属などの母材から生じた粉じんは、健康を害する恐れがあります。
- ▶ 作業場の良好な換気に注意し、必要に応じてそれぞれの粉じんに適した防じんマスクを着用してください。作業者や近くにいる人が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。カシヤブナ材などの特定の粉じんは、特に木材処理用の添加剤（クロム塩酸、

木材保護剤) が使用されている場合、発ガン性があるとされています。アスベストが含まれる母材は、必ず専門家が取り扱うようにしてください。

- ▶ 休憩を取って、指を動かして血行を良くするように心がけてください。長時間作業の際には、振動により指、手あるいは手首の関節の血管あるいは神経系に障害が発生する可能性があります。

電気に関する安全注意事項

- ▶ 作業を開始する前に、作業領域に埋設された電線、ガス管や水道管がないかを調査してください。誤って電線を損傷すると、本体外側の金属部分により感電事故が発生する可能性があります。

電動工具の慎重な取扱いおよび使用

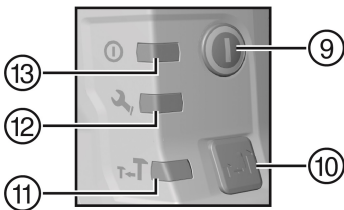
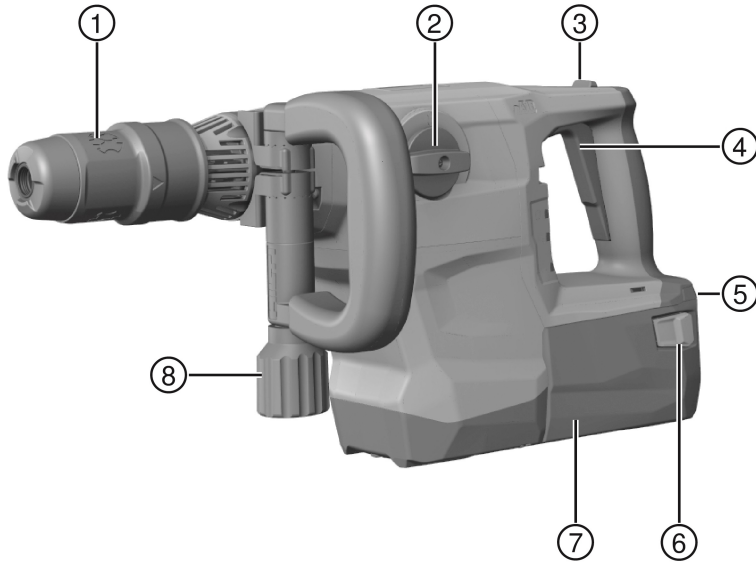
- ▶ 電動工具は停止するまで置かないでください。

2.4 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

- ▶ Li-Ion バッテリーの搬送、保管、作動については特別規定を守ってください。
- ▶ バッテリーは高温、直射日光および火気を避けて保管してください。
- ▶ バッテリーを分解したり、挟んだり、80 °C 以上に加熱したり、燃やしたりしないでください。
- ▶ 衝撃を受けたことのあるバッテリー、1 m を超える高さから落下したことのあるバッテリー、あるいはその他の損傷を被っているバッテリーを使用あるいは充電しないでください。この場合には、必ず最寄りのHilti サービスセンターにご連絡ください。
- ▶ バッテリーが掴むことのできないほどに熱くなっている場合は、故障している可能性があります。製品を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、冷ましてください。この場合には、必ず最寄りのHilti サービスセンターにご連絡ください。

3 製品の説明

3.1 製品概要



- | | | | |
|---|--------------------------------|---|---------------|
| ① | チャック | ⑦ | バッテリー |
| ② | 機能切り替えスイッチ | ⑧ | サイドハンドル |
| ③ | 連続動作モード用ロックボタン (ハツリ作業のみ) | ⑨ | ON/OFF スイッチ |
| ④ | 無段変速スイッチ | ⑩ | ハーフパワーボタン |
| ⑤ | 充電状態および故障インジケータ (Li-Ion バッテリー) | ⑪ | ハーフパワーインジケータ |
| ⑥ | 追加機能 (充電状態インジケータ作動) 付きリリースボタン | ⑫ | サービスインジケータ |
| | | ⑬ | ON/OFF インジケータ |

3.2 正しい使用

本書で説明している製品は、ニューマチック構造の打撃機構を備えた充電式電動ハツリ機です。本製品は、石材への軽度～中程度のハツリ作業、およびコンクリートへの再加工作業用の工具です。

- ▶ 本製品には、必ず**Hilti**の B 36 シリーズの Li-Ion バッテリーを使用してください。
- ▶ これらのバッテリーには、必ず**Hilti**の C4/36 シリーズの充電器を使用してください。

3.2.1 考えられる誤った使用

- 本製品は、健康を損なう危険のある母材を作業するには適していません。
- 本製品は、湿気の多い環境での作業には適していません。

3.3 Active Vibration Reduction

本製品は、振動を大幅に低減させるActive Vibration Reduction (AVR) システムを装備しています。

3.4 サービスインジケータ

本製品はサービスインジケータを装備しています。

3.4.1 MMI

状態	意味
サービスインジケータが点灯。	作動時間がサービス期限に達しています。
サービスインジケータが点滅。	Hilti サービスセンターに修理を依頼してください。
ON/OFF インジケータが点灯。	製品がオンにされています
ON/OFF インジケータが点滅。	製品が一時的なエラーのためにオフにされています。
ON/OFF インジケータが消灯。	製品がオフにされています。
ハーフパワーインジケータが点灯。	製品はハーフパワーで作動しています。
ハーフパワーインジケータが消灯。	製品はフルパワーで作動しています。

3.4.2 Li-Ion バッテリーのインジケータ

Li-Ion バッテリーの充電状態および本体の不具合は、Li-Ion バッテリーのインジケータにより表示されます。Li-Ion バッテリーの充電状態は、2つのバッテリーリリースボタンのいずれかを押すと表示されます。

状態	意味
4 個の LED が点灯。	充電状態：75 %...100 %
3 個の LED が点灯。	充電状態：50 %...75 %
2 個の LED が点灯。	充電状態：25 %...50 %
1 個の LED が点灯。	充電状態：10 %...25 %
1 個の LED が点滅。	充電状態：< 10 %
1 個の LED が点滅、製品は作動可能状態にない。	バッテリーが過熱あるいは完全に放電している。
4 個の LED が点滅、製品は作動可能状態にない。	本体の過負荷あるいは過熱。



コントロールスイッチの操作中、およびこのスイッチから指を放してから 5 秒が経過するまでの間は、充電状態を確認することはできません。
バッテリーのインジケータの LED が点滅している場合は、「故障時のヒント」の章の注意事項を確認してください。

3.5 本体標準セット構成

電動ハツリ機、サイドハンドル、取扱説明書。

その他の本製品用に許可されたシステム製品については、弊社営業担当またはHilti Store にお問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.group でご確認ください。

4 製品仕様

	TE 500-A36
定格電圧	36 V
重量 (EPTA プロシージャ 01 準拠)	7.9 kg
チャック	TE-Y
保管温度	-20 °C ... 70 °C
作動時の周囲温度	-17 °C ... 60 °C

4.1 騒音および振動値について (EN 60745 準拠)

本説明書に記載されているサウンドプレッシャー値および振動値は、規格に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。電動工具を比較するのにご使用いただけます。曝露値の暫定的な予測にも適しています。記載されているデータは、電動工具の主要な使用方法に対する値です。電動工具を他の用途で使用したり、異なる先端工具を取り付けて使用したり、手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、データが異なることがあります。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく高くなる可能性があります。曝露値を正確に予測するためには、本体のスイッチをオフにしている時間や、本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。このような相違により、作業時間全体で曝露値が著しく低くなる可能性があります。作業者を騒音および/または振動による影響から保護するために、他にも安全対策を立ててください (例: 電動工具およびの先端工具の手入れや保守、手を冷やさないようにする、作業手順の計画を立てる)。

騒音排出値 (EN 60745 準拠)

	TE 500-A36
サウンドプレッシャーレベル (LpA)	89 dB
サウンドプレッシャーレベルの不確実性 (KpA)	3 dB
サウンドパワーレベル (LWA)	100 dB
サウンドパワーレベルの不確実性 (KWA)	3 dB

合計振動値 (EN 62841 準拠)

	TE 500-A36
不確実性 (K)	1.5 m/s ²
コンクリートへのハツリ作業 (a _{h, cHeq})	6.7 m/s ²
不確実性 (K)	1.5 m/s ²

5 バッテリー

バッテリー作動電圧	36 V
作動時の周囲温度	-17 °C ... 60 °C
保管温度	-20 °C ... 40 °C
充電開始時のバッテリー温度	-10 °C ... 45 °C

6 ご使用方法

6.1 作業準備



製品の設定やアクセサリーの交換を行う前に、本製品をオフにするかあるいはバッテリーを取り外してください。

本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。

6.1.1 バッテリーを装着する



注意

負傷の危険 短絡あるいはバッテリーの落下！

- ▶ バッテリーを装着する前に、バッテリーの電気接点と製品の電気接点に異物がないことを確認してください。
- ▶ バッテリーが正しくロックされていることを常に確認してください。

1. はじめてお使いになる前にはバッテリーをフル充電してください。
2. ロックの音が聞こえるまでバッテリーを本体ホルダーに装着します。
3. バッテリーがしっかりと装着されていることを確認してください。

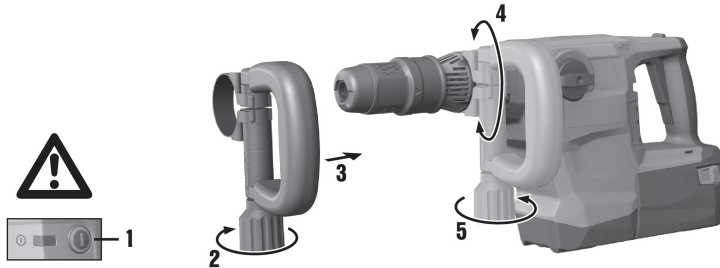
6.1.2 バッテリーを取り外す

1. バッテリーのロック解除ボタンを押します。
2. バッテリーを本体のホルダーから引き抜きます。

6.1.3 バッテリーを充電する

1. 充電の前に充電器の取扱説明書をお読みください。
2. バッテリーと充電器の電気接点は汚れがなく、乾燥していることを確認してください。
3. バッテリーは許可された充電器で充電してください。

6.1.4 サイドハンドルを取り付ける



注意

負傷の危険 電動ハツリ機のコントロールの喪失。

▶ サイドハンドルが正しく取り付けられ、しっかりと固定されていることを確認してください。

1. 本体をスイッチオフにします。
2. グリップを回してサイドハンドルのクランピングバンドを緩めます。
3. クランピングバンドを前方から取付け用溝のところまでスライドさせてチャックへと取り付けます。
4. サイドハンドルをご希望の位置にします。
5. グリップを回してサイドハンドルのクランピングバンドを張ります。

6.1.5 出力を調整する



バッテリーを装着すると、製品は常にフルパワーに設定されます。

1. 「ハーフパワーボタン」を押します。製品がハーフパワーに切り替わります。
 - ↳ 「ハーフパワーインジケーター」が点灯します。
2. 「ハーフパワーボタン」を再度押します。製品がフルパワーに切り替わります。
 - ↳ 「ハーフパワーインジケーター」が消灯します。

6.1.6 先端工具を装着する / 取り外す

危険

火災の危険 熱くなっている先端工具と引火性が高い物質との接触による危険。

▶ 熱くなっている先端工具を引火性の高い物質の上に置かないでください。

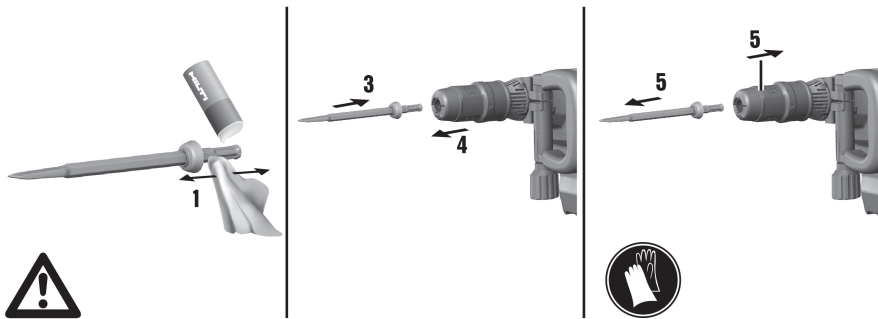
警告

負傷の危険 使用中に先端工具が高温になる場合があります。

▶ 先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。



適切でないグリスを使用すると、製品の損傷の原因となることがあります。必ずHiltiの純正グリスを使用してください。



1. 先端工具のコネクションエンドにグリスを軽く塗布します。
 - ↳ 必ずHilTIの純正グリスを使用してください。不適切なグリスを使用すると製品損傷の原因となることがあります。
2. 機能切り替えスイッチを「ハツリ作業」Tの位置にします。
3. 先端工具をチャックのストップ位置まで差し込み、ロックさせます。
4. 装着後に先端工具を引っ張り、確実にロックされているか確認します。
 - ↳ 製品は作動可能状態です。
5. チャックロックスリーブをストップ位置まで引き戻し、先端工具を取り外します。

6.2 作業

注意

負傷の危険 電動ハツリ機のコントロールの喪失。

- ▶ サイドハンドルが正しく取り付けられ、しっかりと固定されていることを確認してください。

本書および製品に記載されている安全上の注意と警告表示に注意してください。

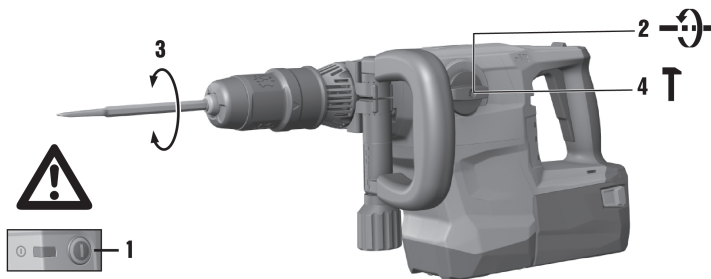
6.3 チゼル角度調整


注意

負傷の危険！ ハツリ方向のコントロールの喪失。

- ▶ 「チゼル角度調整」位置で作業をしないでください。機能切り替えスイッチを「ハツリ作業」の位置にし、その位置にロックさせます。


チゼルは24の異なる位置に（15°ステップで）調整することができます。これによってコールドチゼルでもスケーリングチゼルでも、最適の角度で作業できます。




1. 本体をスイッチオフにします。
2. 機能切り替えスイッチを「チゼル角度調整」の位置にします。
3. チゼルをご希望の位置に回します。
4. 機能切り替えスイッチをこの記号に合わせてください： **T** (ロックさせてください)。
 - ↳ 製品は作動可能状態です。


6.3.1 ハツリ作業

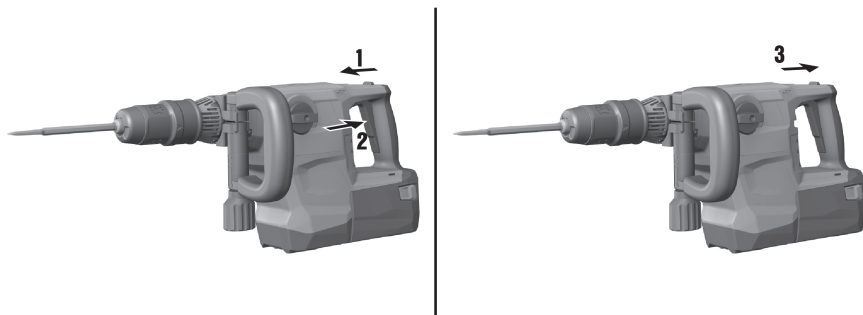
- ▶ 機能切り替えスイッチを「ハツリ作業」 **T** の位置にします。

 本製品は常に両手でしっかり保持してください。本製品は清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。

 作業の後、熱くなっている本製品を引火性の高い物質の上に置かないでください。そのような物質は自然に発火することがあります。

6.3.2 連続動作モードをオンにする / オフにする

 ハツリモードで作業する場合、コントロールスイッチを作動状態でロックできます。



1. 連続動作モード用ロックボタンを前方へ押します。
2. コントロールスイッチを一杯に握り込んでください。
 - ↳ 製品が連続動作モードで作動します。
3. 連続動作モード用ロックボタンを後方へ押します。
 - ↳ 製品がスイッチオフになります。

7 手入れと保守

警告

バッテリーを装着した状態における負傷の危険！

- ▶ 手入れや保守作業の前に必ずバッテリーを取り外してください！
-

本体の手入れ


- 強固に付着した汚れは慎重に除去してください。
- 通気溝を乾いたブラシで入念に清掃してください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。

Li-Ion バッテリーの手入れ

- バッテリーは清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。
- ハウジングは必ず軽く湿らせた布で清掃してください。シリコンを含んだ清掃用具はプラスチック部品をいためる可能性があるので使用しないでください。
- 湿気が入り込まないようにしてください。

保守

- 目視確認可能なすべての部品について損傷の有無を、操作エレメントについては問題なく機能することを定期的に点検してください。
 - 損傷および/または機能に問題のある場合は、本製品を使用しないでください。直ちにHilti サービスセンターに修理を依頼してください。
 - 手入れおよび保守作業の後には、すべての安全機構を取り付けて機能を点検してください。
-

 安全な作動のために、必ず純正のスペアパーツと消耗品を使用してください。本製品向けに弊社が承認したスペアパーツ、消耗品およびアクセサリは、弊社営業担当またはHilti Store お問い合わせいただくか、あるいはwww.hilti.groupでご確認ください。

8 バッテリー装置の搬送および保管

搬送

注意

搬送時の予期しない始動！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で搬送してください！
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ バッテリーは決して梱包しない状態で搬送しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーを長距離にわたって搬送した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

保管上の注意事項

注意

故障したあるいは液漏れしたバッテリーによる予期しない損傷！

- ▶ お使いの製品は、必ずバッテリーを装着していない状態で保管してください！
- ▶ 本体とバッテリーは、できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。
- ▶ バッテリーを太陽の直射下、ラジエーターの上、窓際等で保管しないでください。
- ▶ 本体とバッテリーは、子供や権限のない人が手を触れることのないようにして保管してください。
- ▶ 本体とバッテリーを長期間にわたって保管した後は、使用前に損傷がないかチェックしてください。

9 故障時のヒント

この表に記載されていない、あるいはご自身で解消することのできない故障が発生した場合には、弊社営業担当またはHilti サービスセンターにご連絡ください。

9.1 故障かな？と思った時

故障	考えられる原因	解決策
打撃がない。	製品温度が低すぎる。	▶ 製品を母材に接触させて、アイドリング回転させます。打撃機構が作動するまでこれを繰り返してください。
バッテリーの消耗が通常よりも早い。	バッテリーの状態が好ましくない。	▶ バッテリーを交換してください。
バッテリーが「カチッカチツ」と音がするまでロックされない。	バッテリーのロックノッチが汚れている。	▶ ロックノッチを清掃してバッテリーを改めてロックしてください。
製品が自動的にオフになる。	過負荷保護機構が有効。	ON/OFF インジケータが点滅。 ▶ コントロールスイッチから指を放します。製品を冷ましてください。コントロールスイッチを改めて操作してください。負荷を低減してください。
本体あるいはバッテリーが熱くなる。	電氣的故障。	▶ 製品を直ちにオフにしてください。バッテリーを取り外して点検します。バッテリーを冷ましてください。Hilti サービスセンターに連絡してください。
	製品の過負荷（適用基準を超えている）。	▶ 用途に適した製品を選択してください。
バッテリーの LED がなにも表示しない。	バッテリーが完全に装着されていない。	▶ バッテリーを「カチッカチツ」と音がするまでロックする。
	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電してください。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる。	▶ バッテリーを推奨運転温度まで冷やしてください / 暖めてください。
バッテリーの 1 個の LED が点滅。	バッテリーが放電している。	▶ バッテリーを交換し、空のバッテリーを充電してください。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる。	▶ バッテリーを推奨運転温度まで冷やしてください / 暖めてください。
バッテリーの 4 個の LED が点滅。	製品の短時間の過負荷。	▶ コントロールスイッチから指を放し、改めてコントロールスイッチを操作してください。
	過熱保護が作動した。	▶ 製品を冷まし、通気溝を清掃してください。
製品がフルパワーにならない。	コントロールスイッチの握り込みが不十分。	▶ コントロールスイッチをストップ位置まで強く握り込んでください。
	「ハーフパワー」ボタンがオンになっている。	▶ 「ハーフパワー」ボタンを押してください。
先端工具をロックから取り出せない。	チャックが完全に引き戻されていない。	▶ チャックロックスリーブをストップ位置まで引き戻し、先端工具を取り外してください。
	サイドハンドルが正しく取り付けられていない。	▶ サイドハンドルを緩めて、クランピングバンドとサイドハンドルが奥でロックされるように正しい位置に取り付けてください。
製品が始動しない。	電源遮断後、電子式始動インターロックがアクティブになっている。	▶ 製品をオフにして、再びオンにする。

故障	考えられる原因	解決策
サービスインジケータが点灯。	サービス期限に達している。	▶ Hilti サービスセンターに修理を依頼してください。
サービスインジケータが点滅。	製品の損傷。	▶ Hilti サービスセンターに修理を依頼してください。
ON/OFF インジケータが点滅。	製品の短時間の過負荷。	▶ コントロールスイッチから指を放し、改めてコントロールスイッチを操作してください。
	過熱保護が作動した。	▶ 製品を冷まし、通気溝を清掃してください。

10 廃棄

Hilti 製品の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国で**Hilti** は、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当または**Hilti** 代理店・販売店にお尋ねください。



- ▶ 電動工具、電子機器およびバッテリーを一般ゴミとして廃棄してはなりません！

11 RoHS (有害物質使用制限に関するガイドライン)

下記のリンクより、有害物質を記載した表を確認できます：qr.hilti.com/r10130182。
本書の最終ページに RoHS 表にリンクした QR コードがあります。

12 メーカー保証

- ▶ 保証条件に関するご質問は、最寄りの**Hilti** 代理店・販売店までお問い合わせください。



Hilti Aktiengesellschaft
Feldkircherstraße 100
9494 Schaan | Liechtenstein

TE 500-A36 (04)

[2018]

2014/30/EU

EN ISO 12100

2006/42/EC

EN 60745-1

2011/65/EU

EN 60745-2-6

2000/14/EC



Measured 99 dB
Guaranteed 101 dB



TÜV Nord CERT GmbH
Am TÜV 1 | DE 30519 Hannover

Paolo Luccini

Head of BA Quality and Process Management
BA Electric Tools & Accessories

Schaan, 03/2019

Tassilo Deinzer

Executive Vice President
BU Power Tools & Accessories



RoHS



qr.hilti.com/r10130186



Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.:+423 234 21 11
Fax:+423 234 29 65
www.hilti.group



2164701



Hilti Connect